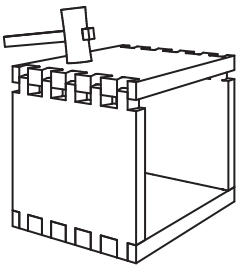
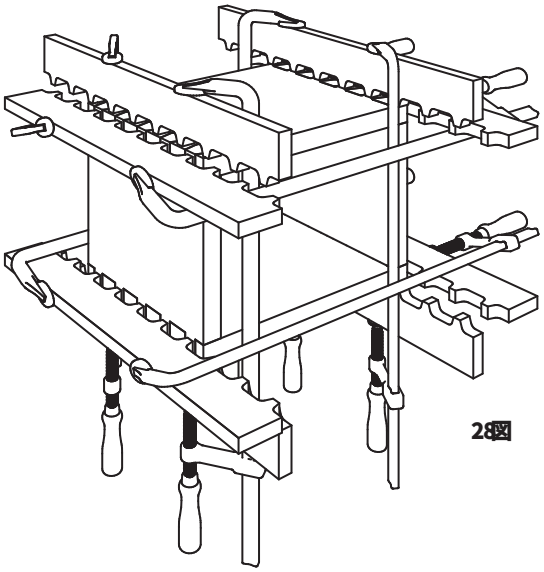
完成と組み立て

24図のように仮組みして全ての噛み合わせ状態を確認して完成です。



24図

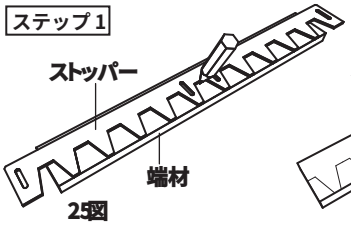


28図

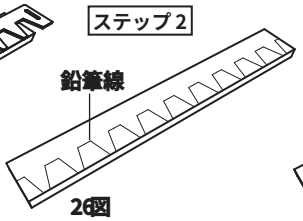
押さえ板を使ったクランピング

押さえ板の製作

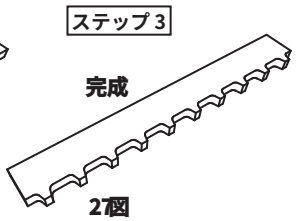
ストッパーを型板として利用することで押さえ板を簡単に製作できます。本番組み立て接着時に有効です。



25図



26図



27図

端材の上にストッパーを置き、鉛筆で形を写します。

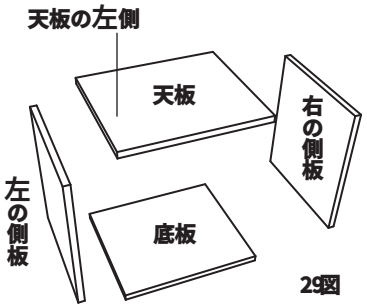
鉛筆線を目安にしてジグソーでカットすれば押さえ板の完成です。

型板の取付け方向

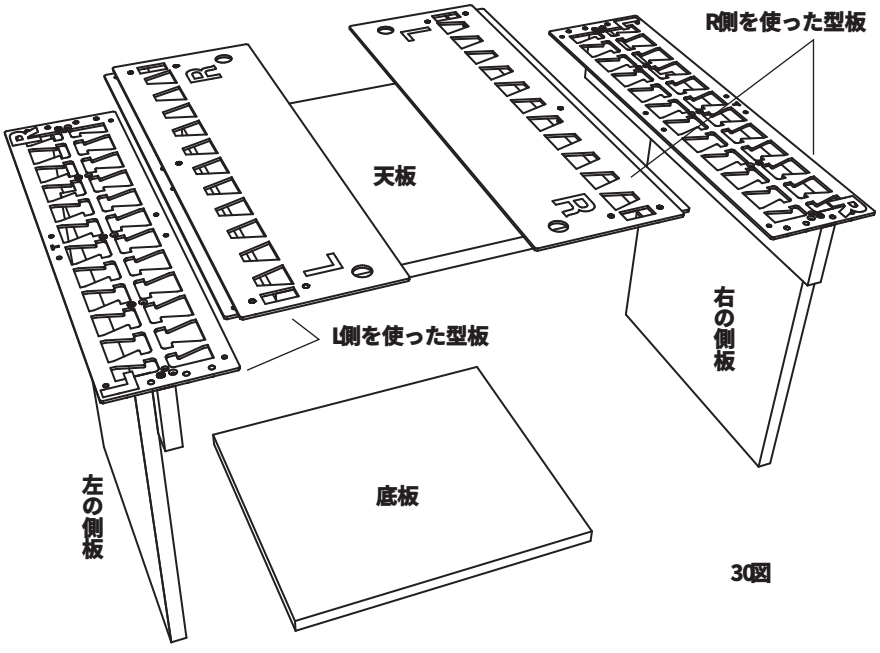
型板は材料板の左右どちらかに寄せてクランプします。29図のような4枚の板を蟻接ぎ加工する場合の型板取付け方向をご説明します。まず、天板の左側と左の側板を蟻接ぎ加工する場合、どちらも「左」という文字が付くので型板も「L」と書かれた側に注目し、L側に板を寄せてクランプします。（30図 L側を使った型板）

今度は天板の右側と右の側板を接合する場合です。この場合「右」という文字が付くので「R」と書かれた側に板を寄せてクランプします。（30図 R側を使った型板）

底板と2枚の側板の接合は、4枚の板を180°回転して底板を天板の位置にしたと想像します。そうして底板を天板に見立て先程と同じように加工します。

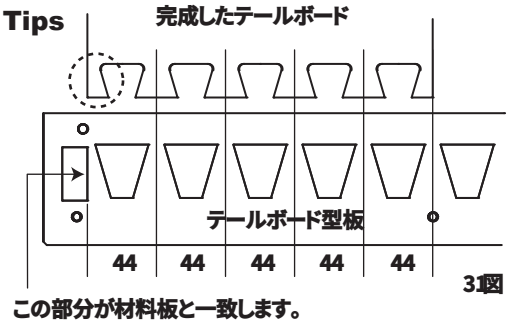


29図



30図

Tips



31図

この部分が材料板と一致します。

テールボードを加工すると点線で囲んだように半分の大きさのテールで始まるようになっています。美しく仕上げるには反対側も半分のテールで終わるような板幅にしておくといいでしょう。そのためにはこのジグのピッチが44ミリなのでその倍数の板幅にします。また、22ミリの倍数にすれば半分のピンで終わらせることができます。

MIRAIダブテールジグ

テールボード型板（1）ストッパー（1）ピンボード型板（1）当て板（1）木ネジ（5本）厚みゲージ（1）蝶ナット（3個）取扱説明書（1）製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。）

（株）インターナショナル・ミライ・コーポレーション 〒162-0053 東京都新宿区原町3-73
Tel.03-3205-2741 Fax.03-3205-2742 http://www.mirai-tokyo.co.jp

BJJGABBF